



環境変化とグローバル化対応の強化へ コモディティ取引・リスク管理システムを刷新

柔軟性やコスト効率に優れるNSSOLの「Ratispherd」を選択

背景

非鉄金属の現物・デリバティブ取引を統合管理するシステムを最新のパッケージソフトウェアで刷新。取引のさらなる拡大に向けて、事業環境・ビジネスの変化に対する柔軟性やグローバル化対応をさらに強化したいと考えた。



豊田通商株式会社
非鉄金属第二部 企画管理グループ
グループリーダー
中根 寛人氏



豊田通商株式会社
非鉄金属第二部 企画管理グループ
中川 真一氏

ソリューション

海外製品を含めた複数のパッケージを比較。取引条件に応じてマスタを変更できる自由度やコスト効率などに優れる新日鉄住金ソリューションズの「Ratispherd」を選択し、カスタマイズ・機能追加も同社に支援を依頼した。

成果

Ratispherdの導入により、システムコストが大幅に削減され、取引・リスク管理業務のこれまで以上の高度化を実現する環境が整備された。海外拠点への導入も始まっており、グローバルな連携管理が可能となった。

事業環境変化とグローバル化対応の強化に向けシステムを刷新

「人・社会・地球との共存共栄をはかり、豊かな社会づくりに貢献する価値創造企業を目指す」を企業理念に掲げ、トヨタグループの総合商社として自動車や自動車部品、金属、食料など幅広く取り扱う豊田通商。同社が非鉄金属部門におけるコモディティ取引・リスク管理システムの刷新を検討したのは2012年ごろだった。

国際市場で取引するコモディティ（汎用品）では、現物取引と、価格変動リスクをヘッジするデリバティブ取引の統合管理が必要不可欠である。当時、豊田通商の非鉄金属部門は、コモディティ取引・リスク管理システムをスクラッチで開発・運用していたが、取引のさらなる拡大へ対応すべく、今後の事業環境・ビジネスの変化へ柔軟に対応でき、グローバルな連携管理が達成できるシステムの構築を目指した。

製造業と金融業の両方に豊富な経験を持つNSSOLの製品を選択

豊田通商は海外製品を含む複数のパッケージソフトウェアを比較。その結果、製造業と金融業の両方に豊富なシステム導入経験を持つ新日鉄住金ソリューションズ（以下、NSSOL）の「Ratispherd（ラティスファード）」を選択した。同製品は見積もり～契約締結～計上までに発生するエクスポージャーを統合管理できる国内唯一のパッケージである。

Ratispherdは、非鉄金属だけでなく、エネルギー/食料/穀物といった幅広いコモディティにおける各商品固有の取引単位といった商習慣に対応しており、取引条件に応じてマスタを変更できる自由度やコスト効率などに優れる。英語を含む多言語対応も行われており、海外拠点への導入が容易だ。豊田通商はオンプレミス環境で導入したが、クラウドサービスとして導入することも可能である。

取引拡大に対応した新たな業務基盤が完成、海外の事業拠点にも導入

新システムの導入プロジェクトはNSSOLの支援で2012年12月にスタート。豊田通商は2014年5月から本格運用を行っている。環境変化やグローバル化対応の強化に加えてRatispherdの導入で得た成果は多い。まず、パッケージをベースに開発を行ったほか、海外製品に比べてRatispherdのコスト効率化が高いため、初期導入・保守などに要するシステムコストが大幅に削減された。次に、以前は人手で行っていた一部の業務をシステムに取り込んだことで業務効率が向上した。さらに、表計算ソフトを使った手作業の取引・リスク管理に比べると、取引記録が全て残るため、ガバナンスが格段に強化された。豊田通商は2014年10月、海外事業拠点にもRatispherdを導入。グローバルな連携管理を可能にするなど、取引・リスク管理の高度化を加速させている。

Key to Success

豊田通商がコモディティ取引・リスク管理システムの刷新に着手した背景について、非鉄金属第二部 企画管理グループ グループリーダーの中根寛人氏はこう語る。

「現物とデリバティブの取引・リスクを統合管理するシステムを独自に開発して改修を重ねてきましたが、事業環境の変化に応じたきめ細やかな機能追加をすることが難しくなっていました。新システムはパッケージソフトをベースに開発し、事業の環境変化とグローバル化への対応強化を行いたいと考えました」

同社が選定したのが、NSSOLのRatispherdである。

非鉄金属第二部 企画管理グループの中川真一氏は選定理由について「Ratispherdには、複雑化する取引条件にシステムを対応させる柔軟性がありました。コモディティの取引では顧客・取引ごとに様々な契約条件が存在していますが、Ratispherdはマスタの設定部分が細かく、ユーザーのニーズに沿った高い自由度を持っています。また、英語を含めた多言語対応が行われているため、海外事業拠点への導入の観点からも優れたシステムだと思いました」と話す。

加えて、中根氏は「Ratispherdは、海外のパッケージソフトに比べてコスト効率に優れているうえ、製造業および金融業の両方に多くのシステム導入経験を持つNSSOLのサポートが受けられるという利点を持っています」と評価する。

豊田通商におけるRatispherdの導入プロジェクトもNSSOLが支援した。

中川氏は「業務に合わせて、追加開発を行いました。シミュレーションや

損益変動要因分析をより柔軟に実行できるようにしたほか、データ連携機能を強化し、Ratispherdの損益計上・請求データを、より迅速に基幹業務システムで処理できるようにしました」と振り返る。

短工期でありながら計画通り稼働 海外拠点にもRatispherdを導入

短工期であるため、プロジェクトでは様々な工夫を行った。

中川氏は「非鉄金属商品の取引条件は非常に複雑ですが、要件定義の打ち合わせに、詳細設計の担当者に参加いただくなどで、要件を正確にシステムへ反映してもらうようにしました。NSSOLは、プロジェクトの途中でメンバーが交替したときも、迅速にキャッチアップし、稼働予定時期を厳格に

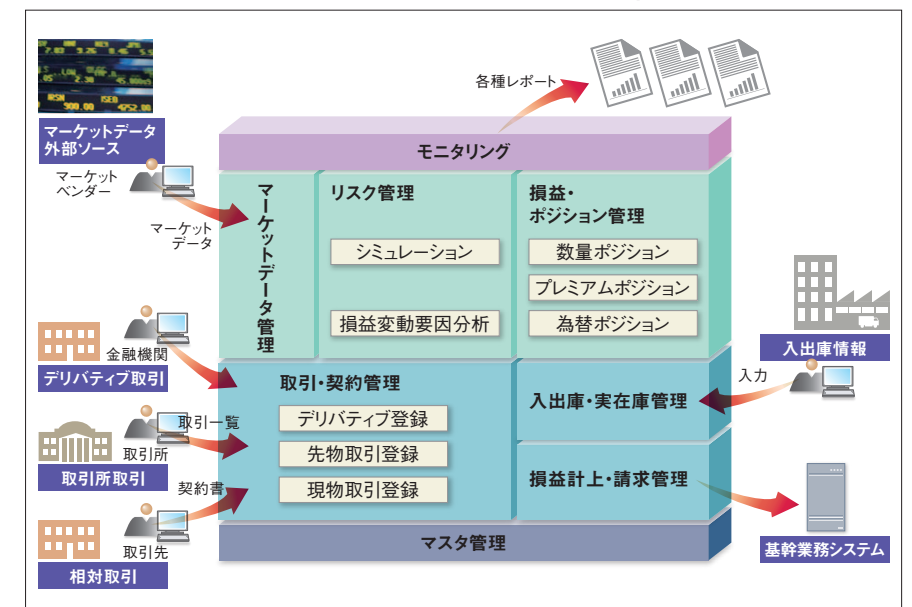
守ってもらえたため、大変感謝しています」と語る。

Ratispherdの導入効果は徐々に表れている。

中川氏は「損益計上・請求処理・契約牽制の業務効率向上、エクスポージャー管理のこれまで以上の高度化を実現する環境が整備されました。システム利用者のスキルが上がるに従い、さらなるコスト削減などの成果を見込めます」と述べる。

中根氏は「システムの多言語対応に伴い、さっそく海外拠点にもRatispherdを導入し、取引・リスク管理のグローバルな連携管理を短期間で実現することができました。当社のリスク管理ノウハウとRatispherdを組み合わせ、グループ内のリスク管理支援を行う予定ですが、ニーズが高ければグループ外にも展開したいですね。その際もNSSOLにはITパートナーとして支援をお願いします」と話す。

■豊田通商が導入したコモディティ取引・リスク管理システム「Ratispherd」の概要



■コアテクノロジー

現物とデリバティブの各取引の統合管理、リスク管理、多言語対応、オンプレミスとクラウドの選択

■システム概要

- サーバー：1台（AP/DBサーバー）
- アプリケーション：Ratispherd（ラティスファード）

豊田通商株式会社

豊田通商株式会社
本社：名古屋市中村区名駅4-9-8
設立：1948年
資本金：649億円（2014年3月31日現在）
売上高：単独3兆6040億円/連結7兆7432億円（2014年3月期）
従業員数：単独2809名/連結5万423名（2014年3月31日現在）
グループ会社：子会社694社、関連会社261社（2014年3月31日現在）